

29年ぶりの修学旅行

在校生といっしょに

名古屋明治小のOBたち

【東海支局】太平洋戦争のため修学旅行できなかった名古屋市内の小学校(当時国民学校)卒業生が、母校の児童たちといっしょに29年ぶりに修学旅行に出かけた。当時の恩師に引率されたOBたちのなかに同じ学校で勉強するわが子と仲よく参加したのもあり、秋色濃い京都と奈良で楽しい二日間を送った。

その話題のあついまし。

こがむきた。

在籍の児童とともに修学旅行に参加したのは名古屋市内の明治小学校(当時国民学校)のOBたち。現職の校長(牛田勝彦校長)を昭和二十二年に卒業した二十五名、話のきかぬは六月に開かれた同期会の席上だ。戦争のため修学旅行に行けなかった。在校生といっしょに修学旅行に出かけた。その話題のあついまし。

美の極致示す工芸

中国展におもむ

白滝末紀

そして、他国民のエスレギーの節約生活を相まって自給自足態勢への見事な前進は、われわれ日本の事情と比較して、無言の反省を促されてくるように感ぜられ、何とも言えない気持ちであった。

軽工業部門で見てみると、工芸品の消費財、安定した物産、工芸美術部門、文化部門の民族的伝統の風格、中国農民が自ら絵筆をとって



銅飛獸文浮彫戸・胡文明款・明(故宮博物院蔵で明清工芸美術展出品のもの)

労働と生活をつないで清らかな農民園な、最も新しく最も新しい国の魅力をはげしく味わせてくれた。

中国少年芸術団はスポーツ交流を目的に、メンバーは十歳から十七歳までの青少年が中国各地の業余体育学校から選ばれてきたのだ。伝統的の拳術、刀術、剣術、槍術など、ハチ、ナイフ、動きの中に、きわめて優美なものがあった。何よりも真剣な闘、燃えるかまをまなまに示された。いかにも新進国家のテンポとリズムを感じた。そして、いかにこの少年少女たちが多くがマンカデレに一日何時間も通じている姿を対照的にみじめに思われ、また日本の教育はこれだけいかにも直感的に考えられるのか、

以上が中華人民共和国展覧会の感想であるが、もう一つの中国展でもまた強い感銘を受けた。

明清工芸美術展には、明の永楽年間から清の嘉慶年間にかけての四百年間の磁器、七宝、金銀器、玉翠、彫刻、漆器、文房具、染織など百四十点が出品された。北京の故宮博物院の「出張展」で



29年ぶりに修学旅行をした明治校のOBたち(奈良の大仏前)

出発の二十四日朝、校庭ならぬOBたちは在校生とともに年田校長から訓示を受けたあと、見いこの要望もあり、酒やビールで二九年間の話題に花を咲かせた。翌日は平安神宮、清水寺、三十三間堂、嵐山、金閣寺などを回ったが、とくに東本願寺では物故した二先生と五名の同級生の供養を行ったが、ながい日移りかわりの感慨に、みんな涙を流したという。

この修学旅行に親子で参加したのも、メイオといっしょだったものが、それぞれ二組もあって四十二歳のOBたちは子どもたちにはしゃぎ回っていたのが印象的だった。恩師の鬼頭藤松氏は入間関係が薄れていく現在、こした心のあたたまるといふすばらしい企画に対し、まったく感謝の言葉もないという。

拝観料を改正

12月から法隆寺で

奈良県・法隆寺の拝観料は十二月日から次のように改正。

個人(大人)二百円、学生(大)

高・中・小(二百円、同(小学生)百

円)団体(二十名以上)大人二

百五十円、学生(大・高)二百円

同(中・高)百五十円、同(小学

生)五十円。

んで、先史時代から唐代にわたる中国の手工業者はかつて日本の工匠から「泥金」「漆器」などの新しい技法を学び、中国の工芸美術の製作技術を豊かなものにしました。

た。日本の文化を評価し、交流の史的事実を明らかにされたのはうれしいことである。

中国現代美術展は天理参考館の膨大なコレクションのうち、多くに選べた美術品百七十八点を運んで、先史時代から唐代にわたる中国の手工業者はかつて日本の工匠から「泥金」「漆器」などの新しい技法を学び、中国の工芸美術の製作技術を豊かなものにしました。

先史時代の「中国美術のあけぼの」、殷周の銅器を中心とする「神工の造形」、戦国の武器やカフ(製器)による「闘争と文化」(備(よ)な銅器を中心とした「漢文化の成立」)に「唐三彩」や銅鏡、ササン朝パルシヤの美術品などによる「国際社会の登場」のコーナーに分けて重点的に見せている。先史時代の彩陶や大盂鼎の光の音楽の中を巡る約二千名のわかれ日本人の一人ひとりに、前方陣長は丁寧なたたかひを手にしておられた。わたくは、その姿に深い友情を感じ、いつまでもその時の情景が懐かしいことである。

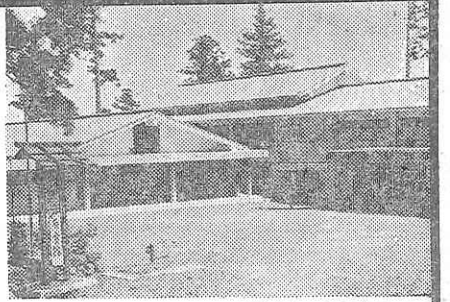
日中国交回復後、中国への真摯な研究の旅の扉はひかれまわるとして、この「旅」の姿勢がどうあるべきか、という問いが、三つの中展を通じて、その正しい方向に突き進んで考えなければならないことがあった。

(おわり)

— 全修協事務局長 —

霊峰比叡でお泊りを

- 素晴らしい琵琶湖の夜景
- 根本中堂で早朝の座禅
- スッキリした気分でのコースへ
- 夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕



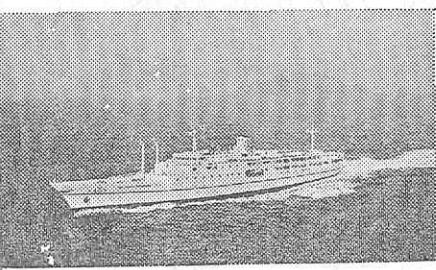
<修学旅行のお宿>

☆本館☆第1別館☆第2別館☆別館比叡

別館 比叡 8月1日オープン

比叡山 延暦寺会館
ENRYAKUJI KAIKAN
0775-78-0047・0554

若者・紺青の海・純白の船



貸切専用純客船

ふじ (3,000トン)

にほん丸 (3,000トン)

- スケジュール・コースはご自由に
 - 船内でのグループ活動・学習に最適
 - 旅客定員 1,800名
 - 全室エアコン完備
 - サロン・休憩室・医務室完備
 - 一般客との混乗なし
- 東京都中央区日本橋通1-3-11
大島運輸株式会社東京支店 浅野ビル9F TEL 03-273-8911

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。

集团生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された「ススカピレソ」

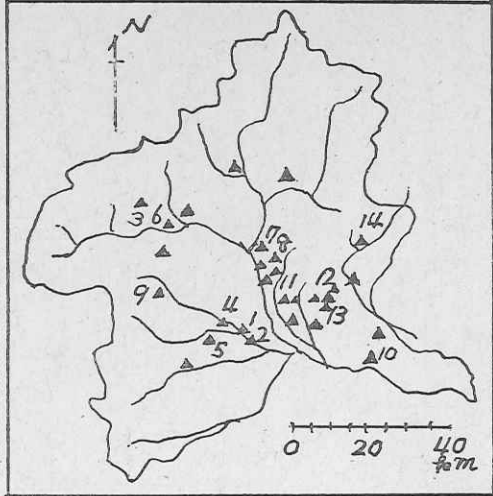
2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。
空へ、水へ、緑の中へ...自分でドンドンを握る"ゆうえんち"。
国際レーシングコースを走るレーサー気分も.....
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで
校歌を歌うひととき——
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も
忘れがたいもの、どれを取っても
学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。

昨年一年間で11万人もの学生さんがこの思い出深い修学旅行を体験しています
「人と科学と自然の接点」
今年の修学旅行こそスズカを加えた(新近畿ルート)をご検討ください。
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。

スズカランド 三重県鈴鹿市稲生町 鈴鹿サーキット
電話=0593(78)1111

本社: 東京都中央区八重洲5-5 ☎03(274)5821
大阪営業所: 大阪府大阪市北区南船場15 ☎06(313)0841

弥生文化遺跡および遺物出土地の分布 (1) 菅野町 (2) 鷲馬場 (3) 有登山 (4) 剣崎 (5) 奥高 (6) 岩瀬山 (7) 樽 (8) 三原田 (9) 水沼 (10) 石田川 (11) 北橋、富土見村 (12) 鵜川、新里村 (13) 荒砥村 (14) 花輪の各遺跡。



されながら、また東毛の利根川沖積平野にまで広がった。これは湿地利用の栽培が弥生人によってなされたが、樽式土器利用の時代(A・D1000-3000)にも谷間の小沖積地が農耕地として利用されてきた。



石井清二郎氏

(5) 群馬の弥生人の生活

古代の群馬を探る

石井清二郎

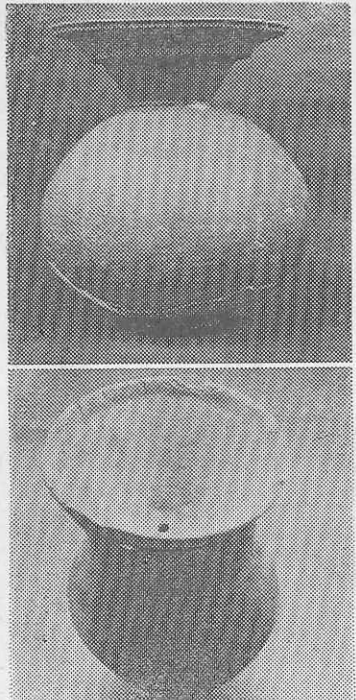
布を織る機械も出現

克明な県教育史 越谷 政一著

群馬県教育生会が県教組と協力し「億増口遊」を展開してこれらを通じて結果を、教職員福祉に大きな貢献をしているが、その苦闘ぶりは本書で克明に語られている。著者は県教組執行委員長、財団法人県教育厚生会理事長、県学校生活協同組合長の要職にあつた人。この物語は県教組の歴史などいろいろのことは、私の想い出の綴り方集として「億増口遊」



れであるが、県教育組織のり、訪問記など、読みものとしても歴史となっている。第一部「教育の国家統制に抗して」は県教組専従前期の十一年間を、第二部「教職員の生活と権利のために」はこれらとのかかわりを書き添くための運動展開を、また、第三部「海外事情にふれて」は四年前の西武七か国の旅行記を昨年の中国



高崎市中佐野町出土の弥生式壺形 (京大史学研究室蔵)

製紡績車・砥石などが発見されている。すでに石を並べたのは見えず、平土間に灰・炭が見られる。家屋の屋根型は、切妻・原始入母屋(いりもや)・丸矢の屋根が存在したといわれている。写真は群馬県立博物館で試作した原始入母屋の模型である。この土間にむしろなどを敷き、夜は藁にひもをまいて寝たのである。

住居一棟に何人か住んでいたのだろうか。水沼遺跡の五段八段の平面から割出すと、一人の所要面積を一・五段×二段として、かまどや器具置場などを勘案すると、十人の家族が住むことができそうである。水沼の部落八戸、一棟平均六人〜七人くらいと推定すると、農耕地の規模も想像される。

水沼遺跡の土製紡績車は機械の実在を示している。これを用いて糸を紡ぎ、いり機にかけて手織りしたであろう。原料はカラシムが主であるが、木綿・絹もあつたといわれている。金属製品については、弥生時代と認められるのは、前記水沼の鉄斧だけであるが、砥石配水沼の鉄斧は、弥生式時

水沼遺跡の土製紡績車は機械の実在を示している。これを用いて糸を紡ぎ、いり機にかけて手織りしたであろう。原料はカラシムが主であるが、木綿・絹もあつたといわれている。

水沼遺跡の土製紡績車は機械の実在を示している。これを用いて糸を紡ぎ、いり機にかけて手織りしたであろう。原料はカラシムが主であるが、木綿・絹もあつたといわれている。

水沼遺跡の土製紡績車は機械の実在を示している。これを用いて糸を紡ぎ、いり機にかけて手織りしたであろう。原料はカラシムが主であるが、木綿・絹もあつたといわれている。



群馬県立博物館が試作した原始入母屋の模型

■ひろがる緑の高原■そそりたつ日本アルプス連峰
■澄みきった空と湖

自然のなかのチロル風ホテル

〈修学旅行に最適〉

清風園
●女神湖ホテル

長野県北佐久郡立科町芦田
TEL 026755-6006 〒384-23

案内所
■東京03-844-1710・1801 ■中部0587-66-2121 ■名古屋052-962-0585
■大阪06-304-1024

東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。

東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近に望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様により有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585-1046(代表)

東京 コマ旅行会館

ぶらじる丸と学ぼう

●海と船のことなら 何んでもわかる
楽しさいっぱい1万トン!!

鳥羽駅前

海洋パビリオン
鳥羽ぶらじる丸

鳥羽ぶらじる丸観光株式会社 TEL 05992-5-3211